

別紙様式第 25-1 号

事業計画書及び収支見積書（破碎業）

令和 ●年●月●日

使用済自動車等を不適正に大量に保管している実態がある場合は、様式第 25-2 号も併せて提出すること。

住 所 広島市中区基町 10 番 5 2 号

氏 名 株式会社 広島自動車

代表取締役 広島一郎

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

令和 ●年●月●日現在作成

1-1 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

解体業者から解体自動車を引取り、シュレッディングマシンで破碎後、鉄、非鉄金属、ASR に分別する。

一部自動車をプレスして鉄スクラップ原料とする。

分別・処理した物品の取扱いは次のとおり。

鉄…電炉メーカーに売却、輸出業者に売却

非鉄金属…非鉄金属商社に売却

ASR…自動車メーカー等の指定する引取場所に引渡

(フロー概略図を添付 (省略))

業務時間	8:00~17:00	従業員数	20人	休業日	日曜日・祝祭日
------	------------	------	-----	-----	---------

1-2 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	□年度実績 (3年前)	△年度実績 (2年前)	○年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
引取台数	20,000台	22,000台	24,000台	25,000台
主な引取先	解体業者等	解体業者等	解体業者等	解体業者等

1-3 破碎実績（圧縮のみを含む）

年 度	□年度実績 (3年前)	△年度実績 (2年前)	○年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
年間処理実績	20,000台	22,000台	24,000台	25,000台
年間稼働日数	280日	280日	280日	280日
平均処理実績	71台/日	79台/日	85台/日	89台/日

1-4 破碎等能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100台/日	280日	28,000台

1-5 保管の状況

解体自動車		ASR	
保管量の上限	1,200 台 (m ³)	保管量の上限	7,000 m ³
現在保管量	1,000 台 (m ³)	現在保管量	22,000 m ³

1-6 年間収支見積書

令和 ●年●月●日現在作成

項目		前年度 (○年) (決算月 (●月))		今年度の見込み (決算月 (●月))	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)	△120,000	△5,000	75,000	3,000
その他の経費	ウ	269,100	11,700	235,800	9,000
うち廃棄物処理委託費	エ	92,000	4,000	26,200	1,000
営業利益	オ=ア-イ-ウ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	カ (主に支払利息 (注))	△3,000	△130	△3,000	△115
経常利益	キ=オ+カ	123,900	5,387	210,200	8,023
使用済自動車等年間引取台数		24,000		25,000	
使用済自動車等年間処理台数		24,000		24,500	

(参考)

	前年度末	現在
負債総額 (年度末残高) (千円)	100,000	100,000

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。
 2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。
 3 前年度の欄は、前年度の決算書 (損益計算書、貸借対照表) を提出すれば記入を省略できる。